

平成二十一年二月十八日提出  
質問第一三四号

財務大臣の先進七カ国財務相・中央銀行総裁会議出席に同行した政府職員等に関する質問主意書

提出者 鈴木宗男

財務大臣の先進七カ国財務相・中央銀行総裁会議出席に同行した政府職員等に関する質問主意

書

本年二月十三日と十四日、先進七カ国財務相・中央銀行総裁会議（G7）に出席すべくイタリアのローマに滞在した中川昭一前財務大臣が、現地時間で同月十四日十五時過ぎから行われた白川方明日本銀行総裁との共同記者会見（以下、「会見」という。）においてろれつが回らず、不明瞭な受け答えをしたとして、同月十七日、財務大臣を辞任した。右を踏まえ、質問する。

一 今次の中川前大臣のローマ訪問に同行した政府職員及び現地において中川前大臣をアテンドした政府職員は誰か、その官職氏名を全て明らかにされたい。

二 安藤裕康在イタリア日本国特命全権大使は、現地において中川前大臣をアテンドしていたか。

三 中川前大臣は「会見」を行った日に開催されたG7昼食会を中座し、宿泊先のホテルのレストランで、財務省の玉木林太郎国際局長や日本から取材で同行した記者、イタリア人通訳数人と会食したと報じられているが、右の会食（以下、「会食」という。）は中川前大臣が公務として行ったものか。

四 本年二月十八日付の毎日新聞（以下、「毎日新聞」という。）には「中川氏と麻布高校の同期で東大法

学部の間窓でもある玉木局長が一部の女性記者を招いたという。」との記事があるが、右記述は事実を反映しているか。

五 「毎日新聞」には「お酒を飛行機の中で飲んだ。風邪薬も多めに飲んだ。その相乗効果になった」、  
「ワインのグラスに口を付けた程度、飲んではいない」と、「会食」の際に中川前大臣は飲酒し、その前日から中川前大臣が風邪薬等を服用していたとの記事があるが、中川前大臣に同行していた、または現地  
でアテンドした一の政府職員は、その時の中川前大臣の体調がどのような状態にあるか把握していたか。

六 「会食」に同席した政府職員の官職氏名を全て明らかにされたい。

七 「毎日新聞」には「『約三十分ほど』（レストラン支配人）だった飲食後に中川氏は午後二時五十分  
から約十五分、同ホテル内でロシアのクドリン財務相と日露財務相会談に臨んだ。この際、麻生太郎首相を  
『麻生大臣』と言い間違えるなど、言動に不安定さもみられた。」、また本年二月十八日付スポーツニッ  
ポンには「ロシア通信は、記者会見前のクドリン副首相兼財務相との個別会談で、中川氏が麻生首相のこ  
とを『大臣』と呼ぶなど、既に『普通の状態でない』ことが明らかだったと指摘した。」と、右の会談  
(以下、「会談」という。)においても、中川前大臣は既に朦朧とした状態にあった旨報しているが、右

記事の内容は事実か。

八 「会談」に同席した政府職員の官職氏名を全て明らかにされたい。

九 七の新聞記事の内容が事実ならば、八の政府職員は、中川前大臣が言い間違いをした際にそれを即座に指摘し、訂正させる等、適切な対応をとっていたか。

十 「毎日記事」には「午後三時四十五分からの内外記者会見の前にはすでにろれつが回らない状態だった。」とあるが、右記事の内容は事実か。

十一 十の「毎日記事」の内容が事実ならば、国益の観点からも、「会見」には中川前大臣ではなく代理の者が出席する、または白川総裁のみで行う等の方法をとるべきではなかったのか。

十二 今次の中川前大臣による一連の失態は、中川前大臣本人に責任があることは当然であるが、同様に、中川前大臣を支える立場にあった一の政府職員も、然るべき対応をとっていたか、厳しく検証されるべきであると考え。麻生総理の見解を示されたい。

右質問する。